

## はじめに

本校は学校教育目標を「一人一人が意識して学びの道にいそしむ西郷っ子」の育成とし教育活動に邁進しています。また「西郷小学校3つの誓い(しっかり勉強します・友達と仲よくします・明るくあいさつをします)」を基に子ども達は学校生活を送っています。

令和2年度より佐賀県教育委員会から「E S D」の委嘱を受け研究を始めることになり、生活科と総合的な学習の時間を中心に全職員で研究に取り組むこととなりました。研究主任を中心に教育課程全体を俯瞰し学びの充実を図るためにカリキュラムマネジメントに取り組み研究を深めていくことができました。

本年度より昨年度までの研究成果を基に研究主題を「深い学びに向かう児童の育成～算数科における『算数チャレンジ』を生かした学習指導を通して～」に変更して、算数科を中心に子供達の力を育てていくことを全職員で決めました。学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」が西郷小学校の子供達の学びとしてどのように具現化を図るかについて職員全員で討議し、研究主任がまとめていきました。特に「数学的な見方・考え方」を育むためには、緻密な学習計画、入念な教材準備、熱い指導、評価のサイクルを継続的に行ってはじめて培われる力だと考えています。

そこで、西郷小学校では、大きく2つの視点を据えて研究に取り組むこととしました。1つ目は「算数チャレンジ」です。それは子供達に次時の算数科の内容を家庭で学習させることにより、「準備運動」を行うことで授業に対する抵抗感を減少させることができます。また、予習をすることによって疑問点などが明確化され、授業中の集中力が更に生まれるようになりました。また、教科書を図や表を手がかりに自力で読み進め、内容を理解しようとする力がついてきました。

2つ目は「つかう」ということです。子供達は新たに得た数理をいろいろな場面で「使う」ことによって自分のものとしていきます。先生達から出されていた、「習熟の時間が足りない」という悩みを「算数チャレンジ」を行うことによって生み出された時間を有効活用することで子供達が実際に「使う」ことを十分に経験し、力がつき始めています。

以上のような取り組みを始めて1年が経とうとしています。今後も実践、評価を繰り返し更に子供達に力を育てていくための方策を探究し、努力を続けていく所存であります。皆様からのご指導、ご助言を賜ることができたら幸いです。

令和 5年 3月 24日  
校長 遠藤 浩幸